



新聞定価 1カ月 2,780円・1部売り120円(各税込み)

(第3種郵便物認可)

函 館 新 聞

2023年(令和5年) 6月29日(木曜日)

12

SPORTS HAKUSHI 函新スポーツ



「リーグ戦、浜分一中山・鹿部・八雲」スピードに乗って中央突破を図る浜分の干田



9年ぶりに優勝した浜分

浜分9年ぶりV

渡島中体連

サッカー

【北斗】サッカーの第53回渡島中学校大会が20日、北斗市運動公園フットボール場で開かれた。5チームによるリーグ戦で浜分が3勝1分けで同率の大野・上磯を得失点差で上回って優勝を飾った。浜分は7月の渡島管内大会に進出し、全道大会出場を懸けて函館市代表と戦う。(小林倉悟)

激戦越え栄冠つかむ

「一丸で戦えた」

浜分が9年ぶりに渡島地区の頂点に立ち、渡島管内大会へ駒を進めた。勝ち点で並んだ大野・上磯との得失点差はわずかに2点。貪欲に得点を積み重ね、堅実に守り抜く姿勢が結果に表れた。小見陽哉監督は「ひた向きにプレーした3日間だった。浜分魂を見せられた」と感慨深げに語った。出場5チームで唯一の単独。凡事徹底をスローガンに団結し、苦難を乗り越えてみせた。「冬は強くなるためには必要と、きつい練習も悲壮感なく取り組んできた」と小見監督。今季の躍動を思い描いて高め合い、ひと冬越えてたくましさを増し、春からの函館地区カブス一部リーグで1敗のみ。確かな手応えを持って今大会を迎えた。

山場は初日。疲労が残る2試合目の大野・上磯戦は先制される苦しい展開から中川りお(3年)の同点弾で引き分けに持ち込んだ。2日目の七飯・知内・松前

に1点差で競り勝ち、最終日の大中山・八雲・鹿部戦も3-0で快勝。攻守に貢献したボランチの宮下遙翔主将(同)は「一人でも欠けたら勝てなかった。成果を出し切ったので得失点差は誇れる」と胸を張った。今大会4点を挙げるなど攻撃の軸としてけん引した千田優斗(同)は「みんなを信じてプレーできた。走り込んだ冬の成果が結果につながり、一丸で戦えた」と喜んだ。大野・上磯戦での千金弾に喜び、感極まった中川も「今まで一番うれしいゴール。大会を通してスピードを生かした」と笑みをこぼした。

次戦の渡島管内大会の相手は桔梗。宮下主将は「守備の部分改善し、集中力を高めて全道への切符をつかみたい」と力を込めた。

写真の注文は「ほしんフォトサービス」へ。QRコード

Weather table with columns for temperature (最高最低), wind direction, and wave. Includes a small table for school sports results.